



誌上 安全講習会（自己反省も含む）

坪 井 正 博



「ご安全に！」

弊社内でも浸透している挨拶だが、昔、ドイツの炭坑夫の間で使われていた「Giucauf（ご無事で）」という挨拶が由来とされている。日本では昭和28年に住友金属工業で従業員への安全啓発策として「ご安全に」が挨拶として提唱され、鉄鋼業界を中心に日本全国へ広まっていった。

当時、常に危険と隣り合わせの環境下で作業をしていたドイツ炭坑夫が、お互いの安全を気づかいあうとても温かい言葉と理解している。

仕事柄、お客様の安全講習会（安全大会）講師を依頼される機会が多い。受講者数は現場単位の十名前後からホール等を貸切って百名超など規模は様々。時間は約1時間、お客様・受講生に如何に興味を持って受講して頂けるかを常に心掛けて臨んでいるが、何回実施しても未だ準備には頭を悩ます。

「誌上 安全講習会」を自己反省を踏まえて開催したい。

自宅トイレでの災難

「東京都内のマンションで女性が8日間にわたり自宅トイレに閉じ込められ、窮地のところ無事救出された事故」は身近に潜む危険として活用させて頂く事故事例である。

事故経緯を簡単に纏めると下記の通りである。

【1日目 午前1時】

就寝前に自宅トイレに入ってドアを閉めたところ、突然「ボタン」と大きな音がした。驚いてドアを開けようとしたが、びくともしなかった。

【6日目】

入院中の母親が毎日お見舞いに来ていた娘が来ないことを心配し、看護師に「連絡して欲しい」と訴える。

【8日目朝】

病院事務局を通じ、女性宅に何度も連絡をしたが応答がなかったため、警察に通報。

【8日目午後3時】

女性救出。脱水症状で母親が入院する病院で点滴治療を受ける。

【事故発生原因】

トイレのドア前廊下に立て掛けていた「こたつセットの入った段ボール」がトイレドアに向かって倒れて、つかえ棒のようになってしまいトイレのドアが開けなくなった。

【事故発生要因】

- ①整理整頓の不備～整理整頓がされている自宅ではなかった（整理整頓が苦手？）
- ②危険予知の不備～ドアの前に立て掛けて「もし倒れたら…」を想定していなかった。

誰もが寛げる場所の身近な家庭内でも事故発生のリスクがある事を説明し、自分自身の部屋／机が整理整頓されていない事を棚にあげつつ「整理整頓」の重要性の説明に移るのだが、その前に、

あなたはいくつ「YES」と言えますか？

- ①外出時や退社時に自分の机の上は片付けられている。
- ②回覧物は、すぐに目を通して次の人に回し半日以上滞留することはない。
- ③出欠を求められるFAXやハガキが届いたら締切前に必ず返事を出す。
- ④マニュアルなど事務所で共有している資料は使用后即座に所定の場所に戻している。
- ⑤会社提出する帳票類が引き出しに入ったままになっていることはない。
- ⑥書類は「ファイリングシステム」の要領に従って保存している。
- ⑦ハサミ・ホチキスなど1個あれば十分な文具は、机の引き出しに1個ずつしか入っていない。
- ⑧上司から保管してある資料の提出を求められた場合、1分以内に取り出すことができる。

皆さんのYESの数は？

6個以上：合格、4～5個：普通、4個以下：苦手。

ここで自分自身が「4個以下：苦手＝ずばら」である事を再認識しつつ、「ずばら」な講師が整理整頓について説明するのである。

整理整頓とは

ここで言葉の意味を再確認する。

【整理】必要な物と不要な物を区別し、不要な物は処分すること。

【整頓】必要な物がすぐに取り出せるように、置き場所・置き方・並べ方を決め、使いやすく・分かりやすく、整えておくこと。

日常において「整理整頓」と1つの言葉として捉えがちだが、「整理」と「整頓」なのである。しかも、各々に意味があり、「いらないものを捨てて、ものを整える」ことが出来てはじめて「整理整頓」なのである。

皆さんの職場では如何だろうか。

「整理整頓が出来ていない工場に、素晴らしい職人はいない」フォード社創業者：ヘンリー・フォードの言葉である。

では、整理・整頓が出来ていないと、どのようなデメリット【⇔メリット】があるのか。

- ①不安全要素が存在し事故の原因となる【⇔安全に作業が出来るようになる】
- ②仕事の効率が悪くなる／スピードが遅い【⇔効率が無理なく向上する】
- ③無駄なお金を使う（経費増大）【⇔無駄な部品・備品等を購入しなくても済む】
- ④良い発想や仕事が出来ず、お客様からの印象が悪い【⇔心に余裕ができ、お客様からの印象も良くなる】

不安全な環境下であることは勿論だが、「作業効率の低下」「経費増大」と負のスパイラルに陥ることは、意外と認識していない場合が多い。自分自身に当てはめてみれば一目瞭然である。資料や道具を探す余計な時間、道具を見つけられず再購入するお金…自己嫌悪である。皆さんも身に覚えがあるかと思う。

整理・整頓が苦手な人（自分も含む）は、整理整頓しなくとも処理できる程度の仕事しかしていない。

裏を返せば、もっと仕事の効率／スピードが上がるはず…言葉で書く（言う）のは簡単だが。

「まずは机中の古い資料の処分から始めよう」

誌上をお借りして決意するのである。

——つばい まさひろ

日本キャタピラー合同会社 販売促進部 地区支援課 課長——